

石淵ダム(ロックフィル)
ダム天端(X,Y,Z) (Gal)
(1461, 934, 2070)
下流側段丘部
(1382, 2097, 1748)

荒砥沢ダム(ロックフィル)
ダム天端(X,Y,Z) (Gal)
(525, 455, 622)
右岸地山
(798, 843, 1024)

小田ダム(ロックフィル)
ダム天端(X,Y,Z) (Gal)
(248, 254, 269)
右岸地山
(164, 185, 151)

栗駒ダム(重力式コンクリート)
ダム天端左岸(X,Y,Z) (Gal)
(666, 922, 437)
右岸地山
(421, 463, 298)

花山ダム(重力式コンクリート)
ダム天端(X,Y,Z) (Gal)
(661, 324, 198)
右岸地山
(441, 470, 243)

(地図はカシミール3D)

荒砥沢(あらとざわ)ダム

- **ダム機能の被害なし.**
- 下流側道路のガードレール基礎と路面にギャップ(最大10cm程度)
- 左岸側の層別沈下計では40cmの沈下だが、塩ビ管の継ぎ手が抜けた可能性あり.
- 天端沈下量は最大で19cm. 上流側へ数cm, 左岸側へ数cmの水平変位(数値は速報値であり今後変更の可能性あり).



荒砥沢ダム

- 天端道路脇の縁石の転倒. チェーンの抜け.
- 天端の法肩よりダム軸上の沈下がやや大きく、縁石や電灯の支柱がダム軸側に傾斜しているように見える.
 - コア材とロック材の沈下特性の違い?
 - 法肩付近の側方変形による?



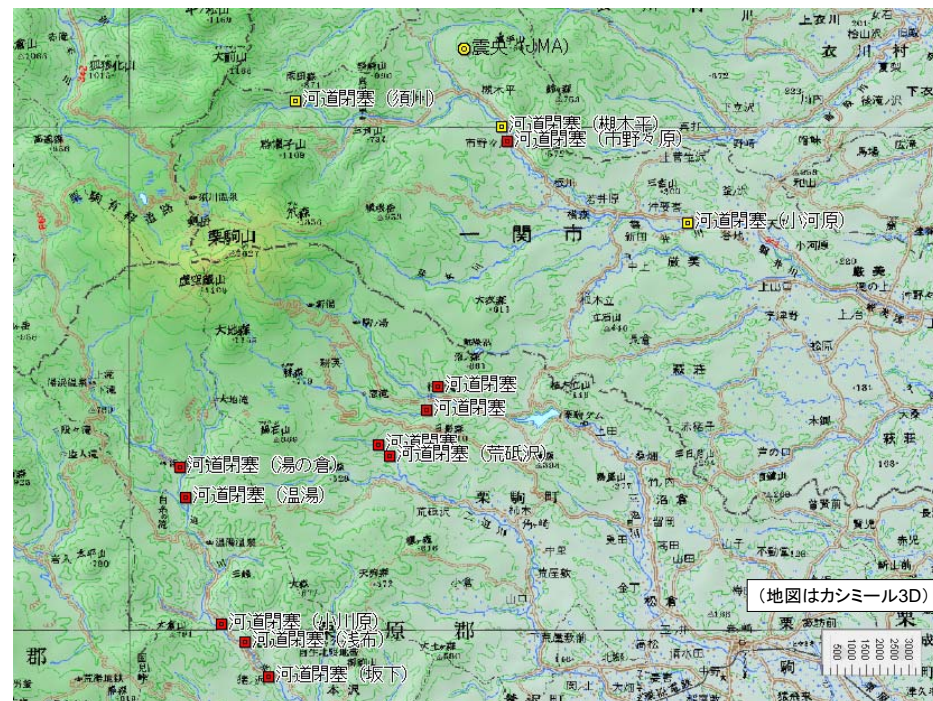
荒砥沢ダム

- 地震後1時間後に点検を実施.
- 水位は2.42m上昇. 上流の斜面崩壊により145.5万m³が流入したと考えられる.
- ダム上流ののり面での流木の付着状況より、土砂流入による波の波高は約2.5m.



小田(こた)ダム

- **ダム機能の被害なし.**
- 天端沈下量最大10cm程度(数値は速報値であり今後変更の可能性あり).
- 天端道路の縁石が圧縮破壊. 大きなものは上流側で4箇所. 下流側で2箇所.
- 総圧縮量は上流側で約22cm, 下流側で約16cm.
 - アスファルトのクラックなし
 - 少なくとも縁石部は残留圧縮の状態.



坂下地区, 迫川水系(花山ダム上流域)

- 崩壊高さ約100m, 幅約200m
- 現状では上流側の水位は上がっていない.



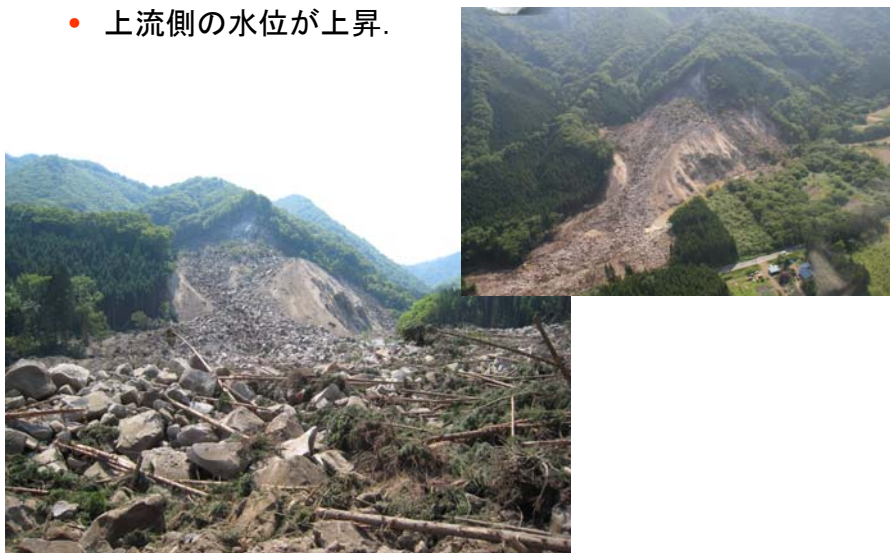
浅布地区, 迫川水系(花山ダム上流域)

- 崩壊高さ約100m, 幅約200m. 崩壊土は岩石, 土砂.
- 上流側の水位が上昇.



小川原地区, 迫川水系(花山ダム上流域)

- 崩壊高さ約100m, 幅約200m. 崩壊土は岩石多い.
- 上流側の水位が上昇.



柳沢の南の沢(栗駒ダム上流域)

- 沢沿いで多くの斜面崩壊



市野々原地区, 磐井川水系

